

2022年度 環境活動レポート

(対象期間 2022年6月1日 ～ 2023年5月31日)



2024年3月8日

篠崎木工株式会社

○ 目 次 ○

- 1.組織の概要
- 2.対象範囲
- 3.組織表
- 4.環境方針
- 5.環境目標
- 6.環境経営目標・活動計画及び実績表
- 7.環境目標の実績
- 8.環境負荷実績
- 9.環境活動の取組結果の評価、次年度の活動計画
- 10.環境関連法規等の遵守の状況確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- 11.代表者による全体の評価と見直し指示

1.組織の概要

1) 事業者名及び代表者名

篠崎木工株式会社

代表取締役社長 戸叶 寛

2) 所在地

本社 栃木県佐野市大橋町1366番地
石塚工場 栃木県佐野市石塚町568番地
資材部 同上
藤岡工場 栃木県栃木市藤岡町都賀1363番地
足利工場 栃木県足利市寺岡町48番地1号
宮城工場 宮城県加美郡色麻町四竈字大原217番地11号
小山工場 栃木県小山市土塔560番地 (株)UACJ押出加工小山 工場内

3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 本社 牧野 和博 TEL 0283-24-3055 FAX 0283-22-5318

事務局 石塚工場 味村 信也
藤岡工場 畠山 常典
足利工場 岡村 貴幸
宮城工場 伊藤 祐司
本社 牧野 和博

4) 事業内容

住宅用木製鋼製部材の製造販売、輸入木材の販売、住宅関連設備の販売及び自社所有不動産物件の管理

5) 事業規模

売上高	5,891百万円 (2021年度(令和3年度))		
従業員	226名 認証登録範囲対象事業所 175名		
敷地面積	本社	85㎡	足利工場 3,982㎡
	石塚工場・資材部	20,735㎡	宮城工場 8,517㎡
	藤岡工場	15,332㎡	小山工場 顧客工場内

2.対象範囲

篠崎木工株式会社の住宅用木製鋼製部材の製造販売、輸入木材の販売及び住宅関連設備の販売に関わる全ての事業を対象とする。

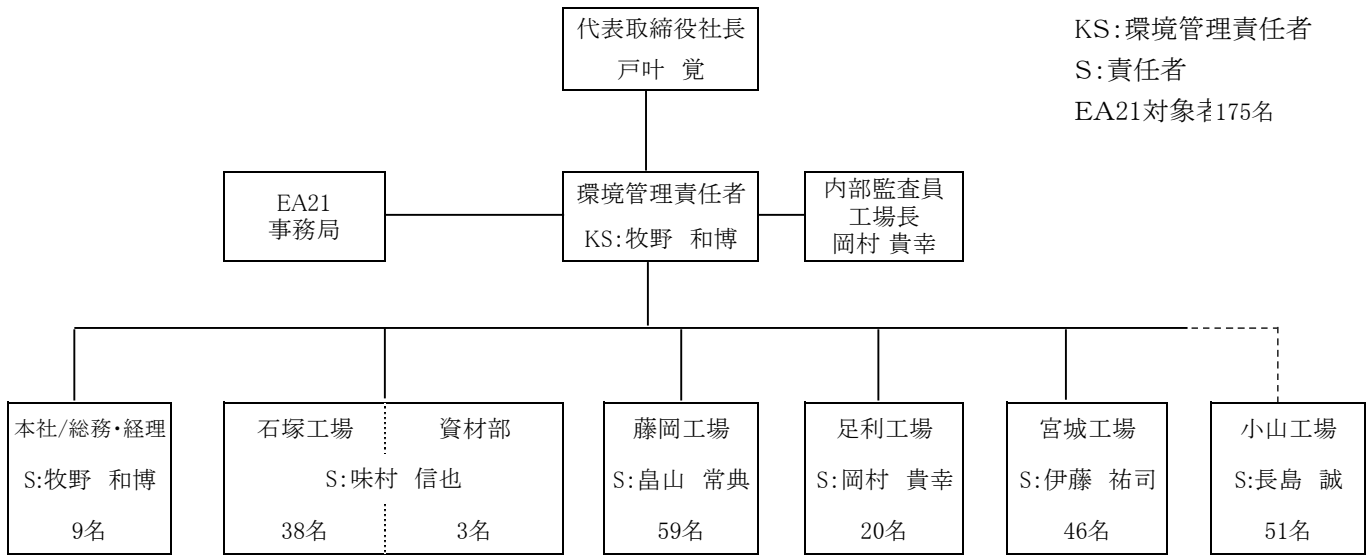
認証登録サイト	石塚工場	・プレハブ住宅用木製部材の製造販売
	資材部	・輸入木材の販売、住宅関連設備の販売
	藤岡工場	・プレハブ住宅用木製部材の製造販売
	足利工場	・プレハブ住宅用木製部材の製造販売
	宮城工場	・プレハブ住宅用木製部材の製造販売、及び鋼製部材の製造販売
	本社	・経理、総務

顧客EMS管理下にある 小山工場 ・顧客工場内請負作業(アルミ製品の検査・梱包)

3.組織表

制定日： 2013年12月1日
改定日： 2022年6月1日

KS:環境管理責任者
S:責任者
EA21対象者175名



※1

※1 対象範囲外
小山工場は顧客EMS
管理下にある。

◎役割・責任表

責任者	役割
社長	1 環境方針を制定する 2 環境管理責任者を任命する 3 環境経営システムの全体の評価と見直しを行う 4 推進に必要な要員、技術、資金等を準備する 5 課題とチャンスを確認にする
環境管理責任者	1 環境経営システムの取り組みの実行責任者として活動を推進する 2 環境経営システムに必要な文書及び記録を承認する 3 環境への負荷及び取組の自己チェックの実施リーダー 4 環境目標及び活動計画を策定し、承認する 5 環境目標及び活動計画の達成状況や実施状況の確認と評価を行い、社長に報告する 6 環境関連法規の取りまとめ、最新チェック及び遵守状況の確認する 7 代表者による全体の評価と見直しのための情報を報告する
EA21事務局	1 EMS全体の活動を確認し、高環境作りをサポートする 2 EMS共通書類(文書・記録)の原本管理を行う
内部監査員	1 内部監査を実行する
責任者	1 部門ごとの活動計画を策定し、達成状況、実施状況を把握し、環境管理責任者に報告をする 2 部門ごとの教育訓練の実施リーダー 3 外部からの苦情や要望を受け付ける窓口 4 文書、記録を管理する
社員	1 活動計画の担当者として実行する 2 システムで定めたルール、取り組み事項を自発的、積極的に実施する

環境経営方針

当社は持続可能な木製部材の生産を通じて
「調和のとれた快適環境の創造」を企業理念に
社員一人ひとりが、未来の地球環境を考え
今やるべき活動に取り組みます。

- (1) 環境経営システムを構築し、維持向上に努めます。
- (2) 環境経営に関わる活動を継続的に改善し、省エネルギー及び環境負荷の低減に努めます。
- (3) 環境関連法規制およびその他の要求事項を順守します。
- (4) 原材料である木材を大切に使用し、不良品を作る無駄を減らし、端材を有効利用します。
- (5) クリーンウッド法を適正に運用し、合法伐採木材の流通及び利用を促進します。
- (6) 生産活動より発生する不用品は、分別することで廃棄物を削減する。
- (7) この環境経営方針は、社内外の人に周知するとともに広く開示します。

令和4年6月1日
篠崎木工株式会社
代表取締役社長

戸叶 寛

5.環境経営目標（2022年度～2024年度）

1)石塚工場・資材部

	項目	2021年度基準 (2021年6月～ 2022年5月)	2022年度目標 (2022年6月～ 2023年5月)	2023年度目標 (2023年6月～ 2024年5月)	2024年度目標 (2024年6月～ 2025年5月)
二酸化炭素削減に関する項目	電気使用量 (単位:kWh/千万円)	3,634	基準年-0.5% 3,617	基準年-1% 3,597	基準年-1.5% 3,579
	ガソリン使用量 (単位:ℓ/千万円)	35.35	基準年-0.5% 35.19	基準年-1% 35.00	基準年-1.5% 34.82
	軽油使用量 (単位:ℓ/千万円)	64.39	基準年-0.5% 64.10	基準年-1% 63.75	基準年-1.5% 63.42
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2/千万円)	2,153	基準年-0.5% 2,143	基準年-1% 2,131	基準年-1.5% 2,121
廃棄物削減に関する項目	一般廃棄物 (単位:kg/千万円)	7.203	基準年-0.5% 7.171	基準年-1% 7.131	基準年-1.5% 7.095
	産業廃棄物 木材 (単位:kg/千万円)	108	基準年-0.5% 107.51	基準年-1% 106.43	基準年-1.5% 105.35
	産業廃棄物 廃プラ (単位:kg/千万円)	102.6	基準年-0.5% 102.14	基準年-1% 101.11	基準年-1.5% 100.09
水使用量 (単位:m3/千万円)		2.685	基準年-0.5% 2.673	基準年-1% 2.658	基準年-1.5% 2.650
化学物質使用量の制御 防腐液も客先指定濃度の達成		達成	達成	達成	達成
事業項目・輸入木材の不良率低減(単位:%)		7.85	基準年-0.5% 7.815	基準年-1% 7.77	基準年-1.5% 7.74

* 電気の排出係数:0.523kgCO2/kWhを使用(令和3年度公表の大和ハウス工業の排出係数)

* 二酸化炭素排出量は2022年度の購入電力消費量(554,947kWh)に排出係数0.523を乗じた原単位。

* 原単位は工場売上高当りである。

5.環境経営目標 (2022年度～2024年度)

2) 藤岡工場

	項目:(原単位/千万円)	2021年度基準 (2021年6月～ 2022年5月)	2022年度目標 (2022年6月～ 2023年5月)	2023年度目標 (2023年6月～ 2024年5月)	2024年度目標 (2024年6月～ 2025年5月)
二酸化炭素削減に係る項目	電力消費量 (単位:kWh/千万円)	3,004	基準年-0.5% 2,989	基準年-1% 2,974	基準年-1.5% 2,959
	ガソリン消費量 (単位:ℓ/千万円)	5.61	基準年-0.5% 5.58	基準年-1% 5.55	基準年-1.5% 5.53
	軽油消費量 (単位:ℓ/千万円)	63.51	基準年-0.5% 63.19	基準年-1% 62.87	基準年-1.5% 62.56
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2/千万円)	1,763	基準年-0.5% 1,754	基準年-4.2% 1,689	基準年-4.2% 1,689
廃棄物削減に係る項目	一般廃棄物排出量 (単位:kg/千万円)	9.91	基準年-0.5% 9.860	基準年-1% 9.811	基準年-1.5% 9.761
	産業廃棄物(合板) (単位:kg/千万円)	491	基準年-0.5% 489	基準年-1% 486	基準年-1.5% 484
	産業廃棄物 廃プラ (単位:kg/千万円)	170.9	基準年-0.5% 170.05	基準年-1% 169.19	基準年-1.5% 168.34
水使用量の節減 (単位:m3/千万円)		22.02	基準年-0.5% 21.910	基準年-1% 21.800	基準年-1.5% 21.690
化学物質使用量の制御		必要なSDSを入手し維持管理する			
事業項目・カナダ製木材の不良率低減 (単位:%)		6.7	基準年-0.5% 6.64	基準年-1% 6.60	基準年-1.5% 6.57

* 電気の排出係数：0.523kgCO2/kWhを使用（令和3年度公表の大和ハウス工業の排出係数）

* 二酸化炭素排出量は2021年度の購入電力消費量（571,003kWh）に排出係数0.523を乗じた原単位

* 原単位は工場売上高当りである

5.環境経営目標（2022年度～2024年度）

3) 足利工場

	項目	2021年度基準 (2021年6月～ 2022年5月)	2022年度目標 (2022年6月～ 2023年5月)	2023年度目標 (2023年6月～ 2024年5月)	2024年度目標 (2024年6月～ 2025年5月)
二酸化炭素削減に 関係する項目	電気使用量 (単位:kWh/千万円)	1,413	基準年-0.5% 1,406	基準年-1% 1,399	基準年-1.5% 1,392
	ガソリン使用量 (単位:ℓ/千万円)	8.86	基準年-0.5% 8.82	基準年-1% 9.00	基準年-1.5% 8.73
	軽油使用量 (単位:ℓ/千万円)	49.00	基準年-0.5% 48.76	基準年-1% 49.00	基準年-1.5% 48.27
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2/千万円)	999	基準年-0.5% 994	基準年-1% 989	基準年-1.5% 984
廃棄物削減に 関係する項目	一般廃棄物 (単位:kg/千万円)	2,759	基準年-0.5% 2,745	基準年-1% 3,000	基準年-1.5% 2,718
	産業廃棄物 木材 (単位:kg/千万円)	173	基準年-0.5% 172	基準年-1% 171	基準年-1.5% 171
	産業廃棄物 廃プラ (単位:kg/千万円)	242.07	基準年-0.5% 240.86	基準年-1% 239.65	基準年-1.5% 238.44
	水使用量 (単位:m3/千万円)	3,293	基準年-0.5% 3,568	基準年-1% 3,260	基準年-1.5% 3,244
	化学物質使用量の制御 防腐液も客先指定濃度の維持	—	維持	維持	維持
	事業項目 ・パネルの不良率を低減させる (単位:%)	0.0310	基準年-0.5% 0.0308	基準年-1% 0.0307	基準年-1.5% 0.0305

* 電気の排出係数：0.523kgCO₂/kWhを使用（令和3年度公表の大和ハウス工業の排出係数）

* 二酸化炭素排出量は2021年度の購入電力消費量(55,458kWh)に排出係数0.523を乗じた原単位

* 原単位は工場売上高当りである

5.環境経営目標 (2022年度～2024年度)

4)宮城工場

	項目	2021年度基準 (2021年6月～ 2022年5月)	2022年度目標 (2022年6月～ 2023年5月)	2023年度目標 (2023年6月～ 2024年5月)	2024年度目標 (2024年6月～ 2025年5月)
二酸化炭素削減に関する項目	電気使用量 (単位:kWh/千万円)	3,898	基準年-0.5% 3,880	基準年-1% 3,859	基準年-1.5% 3,840
	ガソリン使用量 (単位:ℓ/千万円)	18.27	基準年-0.5% 18.18	基準年-1% 18.09	基準年-1.5% 18.00
	軽油使用量 (単位:ℓ/千万円)	91.64	基準年-0.5% 91.18	基準年-1% 90.72	基準年-1.5% 90.27
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2/千万円)	2,036	基準年-0.5% 2,026	基準年-1% 2,016	基準年-1.5% 2,005
廃棄物削減に関する項目	一般廃棄物 (単位:kg /千万円)	8.360	基準年-0.5% 8.318	基準年-1% 8.276	基準年-1.5% 8.235
	産業廃棄物 木材 (単位:kg/千万円)	203	基準年-0.5% 202	基準年-1% 201	基準年-1.5% 200
	産業廃棄物 廃プラ (単位:kg/千万円)	236.00	基準年-0.5% 234.82	基準年-1% 233.64	基準年-1.5% 232.46
	水使用量 (単位:m3/人)	0.750	基準年-0.5% 0.746	基準年-1% 0.743	基準年-1.5% 0.729
	化学物質使用量の制御 防腐液の客先指定濃度の維持	—	維持	維持	維持
	事業項目 ・内壁枠不具合の低減(単位:%)	0.03	基準年-0.5% 0.0299	基準年-1% 0.0297	基準年-1.5% 0.0296

* 電気の排出係数:0.523kgCO2/kWhを使用(令和3年度公表の大和ハウス工業の排出係数)

* 二酸化炭素排出量は2021年度の購入電力消費量(294,845kWh)に排出係数0.523を乗じた原単位

* 原単位は工場売上高当りである

5.環境経営目標 (2022年度～2024年度)

5) 本社

	項目	2021年度基準 (2021年6月～ 2022年5月)	2022年度目標 (2022年6月～ 2023年5月)	2023年度目標 (2023年6月～ 2024年5月)	2024年度目標 (2024年6月～ 2025年5月)
二酸化炭素削減に 関係する項目	電気使用量 (単位:kWh)	12,664	基準年-1% 12,537	基準年-2% 12,411	基準年-3% 12,284
	ガソリン使用量 (単位:%)	4,516.02	基準年-1% 4,470.86	基準年-2% 4,425.70	基準年-3% 4,380.54
	灯油使用量 (単位:%)	125.00	基準年-1% 123.75	基準年-2% 122.50	基準年-3% 121.25
	液化石油ガス(LPG)使用量 (単位:kg)	6.62	基準年-1% 6.55	基準年-2% 6.49	基準年-3% 6.42
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2)	16,540	基準年-1% 16,375	基準年-2% 16,209	基準年-3% 16,044
削減に 関係する 項目係	一般廃棄物 (単位:kg)	268	基準年-1% 265	基準年-2% 263	基準年-3% 260
	水使用量 (単位:m3)	82.6	基準年-1% 81.8	基準年-2% 80.9	基準年-3% 80.1

* 電気の排出係数:0.452kgCO2/kWhを使用(2021年公表の東京電力の排出係数)

* 化学物質の使用はない為、目標として取り上げていない

6.環境経営目標・活動計画及び実績表(2022年度)

石塚工場・資材部 2022年度 環境目標・活動計画及び実績表

作成日:2022年10月11日

承認	担当
技野	味村

中期目標(2024年度)	2022年度目標 (2022.6.1~2023.5.31)	施策(対策)	取組内容	6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5												担当者	責任者
電力消費量 3,679kWh/千万円 1.3%削減 (2021年度基準) 3,634kWh/千万円	電力消費量 3,617kWh/千万円 0.5%削減	節電意識の徹底 <共通> <事務所> <工場内> ※その他、手帳書を参照	基本消灯	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	永井	清水	
			エアコン温度設定表示	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	永井		
			取組使用後は、スイッチOFF	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員従業員		
			生産率向上	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	夜藤		
ガソリン消費量 34.82L/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 35.35L/千万円	ガソリン消費量 35.19L/千万円 0.5%削減	エコドライブの推進 ※その他、手帳書を参照	アイドリング・ストップ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員従業員	味村	
			不必要なスピードを出さない	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		全員従業員
			急発進・急停止を避ける。	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員従業員		
			社用車の燃費の把握	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員従業員		
軽油消費量 63.42L/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 64.39L/千万円	軽油消費量 64.10L/千万円 0.5%削減	エコドライブの推進 ※その他、手帳書を参照	アイドリング・ストップ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員従業員	安藤	
			不必要なスピードを出さない	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		全員従業員
			急発進・急停止を避ける。	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員従業員		
			フォークリフトの燃費の把握	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員従業員		
一般廃棄物排出量削減 7,095kg/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 7,203kg/千万円	一般廃棄物排出量削減 7,171kg/千万円 0.5%削減	ペーパー類の削減 ※その他、手帳書を参照	ペーパーレス推進	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	総務課	尾江	
			現在の印刷物の必要性再確認	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		倉庫部
産業廃棄物(木材)排出量削減 494kg/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 502kg/千万円	産業廃棄物排出量削減 500kg/千万円 0.5%削減	廃棄物を減らす意識改革 ※その他、手帳書を参照	歩留り向上による削減	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課長	安藤	
			転月材の向上	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		各課長
産業廃棄物(プロ)排出量削減 105.25kg/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 108kg/千万円	産業廃棄物排出量削減 107.51kg/千万円 0.5%削減	廃棄物を減らす意識改革 ※その他、手帳書を参照	PPバンド再利用	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課長	鈴木(他)	
			廃棄物の分別	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		各課長

石塚工場・資材部 2022年度 環境目標・活動計画及び実績表

作成日:2022年10月11日

承認	担当
技野	味村

中期目標(2024年度)	2022年度目標 (2022.6.1~2023.5.31)	施策(対策)	取組内容	6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5												担当者	責任者
水使用量の削減 2.65m3/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 2.685m3/千万円	水使用量の削減 2.673m3/千万円 0.5%削減	節水意識の向上	節水の表示	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	小川	味村	
			節水の呼びかけ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		小川
化学物質 防腐液の客先指定濃度維持	化学物質使用量の維持	防腐液の客先指定濃度維持 SDSを入手し、周知する	請求書から該当品の確認	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	森山	永井	
			適正濃度の確認	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		鈴木
輸入木材不良率低減 7.74%/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 7.85%	輸入木材不良率低減 7.815% 0.5%削減	使用材料の見直し	購入先への改善要求	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課長	味村	
			顧客へ耐震変更の提案	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		各課長
			可能な限り転用・製品にする	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課長		
5Sの推進	5Sの推進	工場の整理・整頓	不要物の撤去	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員従業員	味村	
			表示の強化	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員従業員		
			通路と作業場の明確化	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員従業員		

---> :計画 -> :実施
評価(実施項目数) A : 90%以上 B : 80%以上 C : 70%以上 D : 69%以下

実施	27	25	23	26	25	25	26	26	26	28	27	25	
計画	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	
評価	A	B	B	A	B	B	A	A	A	B	A	B	
確認													
日付	6/30	7/29	8/31	9/30	10/31	1/30	1/26	1/31	2/28	3/31	4/28	5/31	

藤岡工場 2022年度 環境経営目標・活動計画及び実績表

作成日：2022年7月28日



中期目標(2022年度)	2022年度目標 (2022.6.1~2023.5.31)	施策(対策)	取組内容	進捗状況												担当者	責任者			
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5					
電力消費量 2,989 KWh/千万円 0.5%削減 (2021年度基準) 3,004 KWh/千万円	電力消費量 2,989 KWh/千万円 0.5%削減 (2021年度基準) 3,004 KWh/千万円	節電効果の実行 <共通> ※詳細は電力消費量削減手順による	出荷量に合った稼働時間の適正化	→	→			→	→				→	→			各課課長	畠山		
			スキマ時間の設備電源オフ	→				→	→				→	→					各担当者	
			設備の負荷低減(清掃・メンテナンス)	→	→			→	→				→	→					各担当者	
			使用していない場所の消灯	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		各担当者	
			エアコンの強弱調整による空調環境	→	→															業務課
ガソリン消費量 5.58 ℓ/千万円 0.5%削減 (2021年度基準) 5.61 ℓ/千万円	ガソリン消費量 5.58 ℓ/千万円 0.5%削減 (2021年度基準) 5.61 ℓ/千万円	無駄な運転を無くす ※詳細はエコドライブ推進手順による	乗り合い運転の推進	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	使用者	加藤(美)		
			外出は一度にまとめて行う	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		使用者	
			現場差し替え品を流出させない	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		各課課長	
軽油消費量 63.19 ℓ/千万円 0.5%削減 (2021年度基準) 63.51 ℓ/千万円	軽油消費量 63.19 ℓ/千万円 0.5%削減 (2021年度基準) 63.51 ℓ/千万円	無駄な運転を無くす ※詳細はエコドライブ推進手順による	運搬作業以外はエンジンを切る	→				→	→	→	→			→	→		資格者	山岸		
			フォークリフトを移動手段に使用しない		→			→	→	→	→				→	→			資格者	
			レイアウトによる搬送距離の短縮				→	→	→	→					→	→			各課課長	
一般廃棄物排出量削減 9.860 kg/千万円 0.5%削減 (2021年度基準) 9.910 kg/千万円	一般廃棄物排出量削減 9.860 kg/千万円 0.5%削減 (2021年度基準) 9.910 kg/千万円	コピー用紙の削減 ※詳細はコピー用紙削減手順による	進捗書類など両面印刷の推進	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	使用者	高橋・長島		
			不必要な指示書は印刷しない	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		使用者	
			製作リスト・図面のモニター化																	生産管理課
産業廃棄物(合板)排出量削減 489 kg/千万円 0.5%削減 (2021年度基準) 491 kg/千万円	産業廃棄物(合板)排出量削減 489 kg/千万円 0.5%削減 (2021年度基準) 491 kg/千万円	廃棄物を減らす創意工夫 ※詳細は廃棄物削減手順による	端材利用と顧客への改善提案	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課課長	館野		
			歩留向上による端材削減	→				→	→											各課課長
			部材取り表を作成し明確にする	→																各課課長
産業廃棄物(廃プラ)排出量削減 170.05 kg/千万円 0.5%削減 (2021年度基準) 170.90 kg/千万円	産業廃棄物(廃プラ)排出量削減 170.05 kg/千万円 0.5%削減 (2021年度基準) 170.90 kg/千万円	廃棄物を減らす創意工夫 ※詳細は廃棄物削減手順による	過剰な梱包資材の購入低減				→	→									各課課長	山岸		
			断熱材カットの歩留向上				→	→												パネル課
			バンド類の社内リサイクルの実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	全員
水使用量の節減 21.910 m3/千万円 0.5%削減 (2021年度基準) 22.020 m3/千万円	水使用量の節減 21.910 m3/千万円 0.5%削減 (2021年度基準) 22.020 m3/千万円	節水対策の実行	水道のバルブによる水圧の調整							→	→						畠山	畠山		
			高圧洗浄機による清掃の実施				→	→								→	→		畠山	
			洗浄等は井戸水を使用する	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		畠山	
化学物質使用量の制御 必要なSDSを入手し維持管理する (2021年度基準) 必要なSDSを入手し維持管理する	化学物質使用量の制御 必要なSDSを入手し維持管理する (2021年度基準) 必要なSDSを入手し維持管理する	該当品の適正管理	SDSを定期的に更新を確認する	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	畠山	畠山		
			適正な保管や取扱いへの確認																	畠山
カガ製木材の不良率削減 6.64% 0.5%削減 (2021年度基準) 6.67%	カガ製木材の不良率削減 6.64% 0.5%削減 (2021年度基準) 6.67%	規格の明確化と材料の見直し	担当者へ基準の理解を深める	→													新村	新村		
			購入先への現状報告と改善要求																	新村
5Sの推進	5Sの推進	工場の整理・整頓	ゴミの分類から置場の識別管理	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員	畠山		
			主要物に対する埃の除去(電気・設備)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		全員	
			識別による状態確認が出来る	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	全員

----> →

:計画 :実施

評価(実施項目数) A : 95%以上 B : 85%以上 C : 75%以上 D : 74%以下

実施	20	19	17	24	20	22	18	17	19	23	18	17
計画	23	27	28	25	23	27	26	26	26	28	26	26
評価	B	D	D	A	B	C	D	D	D	C	D	D
確認	畠山	畠山	畠山	畠山	畠山	畠山	畠山	畠山	畠山	畠山	畠山	畠山
日付	7/28	8/3	9/12	10/13	11/11	12/12	1/16	2/2	3/6	4/11	5/15	6/12

足利工場 2022年度 環境経営目標・活動計画及び実績表

作成日:2023年6月2日

承認	担当

中期目標(2021年度)	2021年度目標 (2021.6.1~2022.5.31)	施策(対策)	取組内容						担当者	責任者							
				6	7	8	9	10			11	12	1	2	3	4	5
ガソリン消費量 11.54L/千円 1.5%削減 (2018年度基準) 11.72L/千円	ガソリン消費量 1%削減 11.60L/千円	エコドライブの推進 (詳細はエコドライブ手順による)	プリウスエコモード推進												全員	岡村	
			アイドリング・ストップ(10分間で130cc消費)														全員
			不必要なスピードは出さない														全員
			急発進・急停止を避ける														全員
軽油消費量 59.86L/千円 1.5%削減 (2018年度基準) 60.77L/千円	軽油消費量 1%削減 60.16L/千円	エコドライブの推進 (詳細はエコドライブ手順による)	プリウス燃費の把握(月単位)												岡村	大島	
			アイドリング・ストップ(10分間で130cc消費)														大島
			不必要なスピードは出さない														大島
電力消費量 1,465KWh/千円 1.5%削減 (2018年度基準) 1,487KWh/千円	電力消費量 1%削減 1,472KWh/千円	節電意識の徹底 (詳細は電力消費量削減手順による)	昼休み消灯												沖中	落合	
			エアコン温度設定表示・調節														小峰
			設備使用後はスイッチOFF														全員
			休憩時コンプレッサー電源オフ														宗崎
一般廃棄物排出量削減 3,057kg/千円 1.5%削減 (2018年度基準) 3,103kg/千円	一般廃棄物排出量削減 1%削減 3,072kg/千円	コピー用紙の削減 (詳細はコピー用紙削減手順による)	設備の稼働と停止のメリハリをつける。												沖中	小峰	
			必要に応じての裏紙の再利用														全員
			生産指示書両面印刷推進														小峰
産業廃棄物排出量(木材)削減 193kg/千円 1.5%削減 (2018年度基準) 196kg/千円	産業廃棄物排出量(木材)削減 1%削減 194kg/千円	廃棄物を減らす意識改革 (詳細は廃棄物削減手順による)	電子文書のFAX送信												全員	沖中	
			釘付木材の解体、分別														落合
			端材再利用														沖中
			合板、無垢材の分別														沖中
			原材料見直しによる提案												---		岡村
産業廃棄物排出量(腐プラ)削減 383.81kg/千円 1.5%削減 (2018年度基準) 389.65kg/千円	産業廃棄物排出量(腐プラ)削減 1%削減 385.75kg/千円		端材の転用先を増やす												---	沖中	
			ポンド容器の乾燥、処分													落合	
水使用量 3,532m3/千円 1.5%削減 (2018年度基準) 3,586m3/千円	水使用量の節減 1%節減 3,550m3/千円	節水意識の向上 (詳細は節水手順による)	節水の表示												小峰	小峰	
			節水の呼びかけ														小峰
化学物質 使用量の制御	化学物質使用量の制御 SDSを入手し周知する 維持	防腐液の客先指定濃度維持	防腐剤使用量の確認												大島	大島	
			防腐剤分析試験表の確認														大島
パネル不良率低減 0.0339% 1.5%削減 (2018年度基準) 0.0344%	パネル不良率低減 1%削減 0.0341%	投入材料の検品	不良に繋がる材料をはじく												小川	小川	
			材料の投入向きの確認														小川
5Sの推進	5Sの推進	工場の整理・整頓	20分間集中清掃												全員	沖中	
法令順守状況		チェックシート、点検表の記入	マニフェストの返送状況管理												小峰	岡村	
			浄化槽点検記録の確認												岡村		
			騒音測定														落合
			エアコン自主点検														沖中

---> :計画 :実施

評価(実施項目数) A:95%以上 B:85%以上 C:75%以上 D:50%以下

実施項目	31	29	29	31	30	28	31	29	28	30	28	
評価	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B
確認												
日付	7/9	8/6	9/3	10/8	11/5	12/6	1/7	2/10	3/8	4/9	5/6	6/8

宮城工場 2022年度 環境経営目標・活動計画及び実績表

作成日:2022年6月6日

承認	担当
秋	橋本

中期目標(2022年度)	2022年度目標 (2022.6.1~2023.5.31)	施策(対策)	取組内容													担当者	責任者				
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5						
二酸化炭素排出抑制 軽油消費量 91.18%/千円 0.5%削減 (2021年度基準) 91.64%/千円	軽油消費量 91.18%/千円 0.5%削減 (2021年度基準) 91.64%/千円	エコドライブの推進 エコドライブ推進手順書参照	アイドリング・ストップ															全員	遠藤		
			不必要なスピードは出さない																	全員	
			急発進・急停止を避ける。																		全員
			空荷走行の低減																		
ガソリン 18.18%/千円 0.5%削減 (2021年度基準) 18.27%/千円	ガソリン 18.18%/千円 0.5%削減 (2021年度基準) 18.27%/千円	エコドライブの推進 エコドライブ推進手順書参照	アイドリング・ストップ															全員	伊藤		
			不必要なスピードは出さない																	全員	
			急発進・急停止を避ける。																		全員
電力消費量 3,880Kwh/千円 0.5%削減 (2021年度基準) 3,898KWh/千円	電力消費量 3,880Kwh/千円 0.5%削減 (2021年度基準) 3,898KWh/千円	節電意識の徹底 <共通> " <工場内> " <工場内> 電力消費量削減手順書参照	昼休み消灯															全員	工場管理者		
			エアー漏れのバトロール																		高橋
			コンプレッサ稼働時間の短縮																		伊藤
			使用後は、主電源 OFF																		全員
一般廃棄物排出量削減 8.318kg/千円 0.5%削減 (2021年度基準) 8.360kg/千円	一般廃棄物排出量削減 8.318kg/千円 0.5%削減 (2021年度基準) 8.360kg/千円	コピー用紙の削減 コピー用紙削減手順書参照	印刷前に必要か再確認															業務課	伊藤		
			現在の印刷物の必要性再確認																		業務課
			裏紙の再利用																		
産業廃棄物(木材)排出量削減 202kg/千円 0.5%削減 (2021年度基準) 203kg/千円	産業廃棄物排出量削減 202kg/千円 0.5%削減 (2021年度基準) 203kg/千円	廃棄物を減らす意識改革 廃棄物削減手順書参照	歩留り向上による削減															製造課	高橋		
			リン木、パレットの返却																		製造課
			端材の再利用を検討																		
産業廃棄物(廃プラ)の削減 234.82kg/千円 0.5%削減 (2021年度基準) 236kg/千円	産業廃棄物(廃プラ)の削減 234.82kg/千円 0.5%削減 (2021年度基準) 236kg/千円	廃棄物を減らす意識改革 廃棄物削減手順書参照	廃棄物の少ない材料を検討															パネル課	遠藤		
			廃棄物の圧縮・減容																	パネル課	
水使用量の節減 0.746㎡/人 0.5%削減 (2021年度基準) 0.75㎡/人	水使用量の節減 0.746㎡/人 0.5%削減 (2021年度基準) 0.75㎡/人	節水の呼びかけ 節水のポスターの掲示																伊藤(和)	伊藤(和)		
化学物質使用量 濃度の維持管理	化学物質使用量 濃度の維持管理	防腐剤使用量の確認	請求書から該当品の確認															鈴木			
			防腐液濃度の定期検査																		
事業項目:内壁枠生産不具合率の低減 0.0299% 0.5%削減 (2021年度基準) 0.03%	内壁枠生産不具合の低減 0.0299% 0.5%削減 (2021年度基準) 0.03%	組立にまつわる不具合の低減 品質改善 機械チョコ停の原因と対策	組立後の再確認															菊地	遠藤		
																				菊地	
5Sの推進	5Sの推進	工場の整理・整頓 安全衛生パトロール	安全衛生パトロール															全員	伊藤		
			通路と作業場の明確化																	全員	

----> :計画 → :実施
 評価(実施項目数) A: 18以上/24 B: 12以上/24 C: 6以上/24 D:5以下/24

実施項目	21	23	21	21	21	21	21	21	22	21	22	21
評価	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
確認	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	橋本	橋本
日付	6/12	7/10	8/7	9/4	10/9	11/14	12/12	1/16	2/13	3/6	4/10	5/15

7.環境経営目標の実績

全事業所、2022年6月～2023年5月の実績である。

1) 石塚工場・資材部

項 目	基準	実績	基準との差		評価
①電気使用量(kwh/千万円)	3,634	3,144	-490	-13.48%	達成
②ガソリン使用量(ℓ/千万円)	35.35	34.45	-0.90	-2.55%	達成
③軽油使用量(ℓ/千万円)	64.39	59.29	-5	-7.92%	達成
④二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /千万円)	2,153	1,870	-283	-13.14%	達成
⑤一般廃棄物排出量(kg/千万円)	7.20	6.31	-0.89	-12.40%	達成
⑥産業廃棄物(木材)排出量(kg/千万円)	831.05	501.85	-329	-39.61%	達成
⑦産業廃棄物(廃プラ)排出量(kg/千万円)	108	21.1	-87	-80.5%	達成
⑧総排水量(m ³ /千万円)	2.685	3.47	1	29.24%	未達
⑨化学物質使用量の制御(kg/千万円)	達成	達成	達成		達成
⑩輸入木材の不良率低減(%)	7.85	7.55	-0.3	-3.82%	達成

2) 藤岡工場

項 目	基準	実績	基準との差		評価
①電気使用量(kwh/千万円)	3,004	2,601	-403	-13.42%	達成
②ガソリン使用量(ℓ/千万円)	5.61	5.06	-0.55	-9.80%	達成
③軽油使用量(ℓ/千万円)	63.51	51.85	-11.66	-18.36%	達成
④二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /千万円)	1,763	1,634	-129	-7.32%	達成
⑤一般廃棄物排出量(kg/千万円)	9.910	7.80	-2.11	-21.29%	達成
⑥産業廃棄物(木材)排出量(kg/千万円)	491	428	-63	-12.83%	達成
⑦産業廃棄物(廃プラ)排出量(kg/千万円)	170.9	40.68	-130.22	-76.20%	達成
⑧総排水量(m ³ /千万円)	22.020	2.652	-19.368	-87.96%	達成
⑨化学物質使用量の制御(kg/千万円)	維持	維持	維持		維持
⑩2×4材の不良率(%)	6.7	10.5	3.8	56.72%	未達

3) 足利工場

項 目	基準	実績	基準との差		評価
①電気使用量(kwh/千万円)	1,413	1,487	74	5.2%	未達
②ガソリン使用量(ℓ/千万円)	8.86	8.58	-0.28	-3.2%	達成
③軽油使用量(ℓ/千万円)	49.00	46.24	-2.76	-5.6%	達成
④二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /千万円)	999	999	0	0%	未達
⑤一般廃棄物排出量(kg/千万円)	2,759	3,330	0.571	20.7%	未達
⑥産業廃棄物(木材)排出量(kg/千万円)	173	230	57	32.9%	未達
⑦産業廃棄物(廃プラ)排出量(kg/千万円)	242.07	237.29	-5	-2.0%	達成
⑧総排水量(m ³ /千万円)	3,293	3,548	0.255	7.7%	未達
⑨化学物質使用量の制御(kg/千万円)	維持	維持	維持		維持
⑩パネルの不良率(%)	0.0310	0.0117	-0.019	-62.26%	達成

4) 宮城工場

項 目	基準	実績	基準との差		評価
①電気使用量(kwh/千万円)	3,898	3,719	-179	-4.6%	達成
②ガソリン使用量(ℓ/千万円)	18.27	19.55	1.28	7.0%	未達
③軽油使用量(ℓ/千万円)	91.64	81.16	-10.48	-11.4%	達成
④二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /千万円)	2,036	1,944	-92	-4.52%	達成
⑤一般廃棄物排出量(kg/千万円)	8,360	8,050	-0.310	-3.7%	達成
⑥産業廃棄物(木材)排出量(kg/千万円)	203	24.93	-178	-87.7%	達成
⑦産業廃棄物(廃プラ)排出量(kg/千万円)	236	336	100	42%	未達
⑧総排水量(m ³ /人)	0.75	0.799	0.0	6.5%	未達
⑨化学物質使用量の制御(kg/千万円)	維持	維持	維持		維持
⑩内壁枠不具合の低減(%)	0.03	0.027	0.00	-10.0%	達成

5) 本社

項 目	基 準	実 績	基準との差		評 価
①電気使用量(kwh)	12,664.00	13,197.00	533.00	4.21%	未達
②ガソリン使用量(%)	4,516.02	5,544.35	1,028.33	22.77%	未達
③灯油使用量(%)	125.00	72.00	-53.00	-42.40%	達成
④液化石油ガス(LPG)使用量(kg)	6.62	8.51	1.89	28.55%	未達
⑤二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	16,540.00	19,028.70	2,488.70	15.05%	未達
⑥一般廃棄物排出量(kg)	268.00	294.00	26.00	9.70%	未達
⑦総排水量(m ³)	82.60	98.13	15.53	18.80%	未達

* 本社、石塚、藤岡、足利、宮城工場は電気の排出係数:0.571kgCO₂/kWhを使用(平成30年度公表の大和ハウス工業の排出係数)

8.主な環境負荷実績(2019～2022年度)

			2019年	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素排出量	電力使用量 単位:Kwh	藤岡工場	569,200	585,814	571,003	551,175
		石塚工場	534,836	473,861	555,877	508,298
		足利工場	81,330	77,833	81,948	76,727
		宮城工場	271,391	277,439	294,845	292,329
		本 社	12,704	12,806	12,664	13,197
		合 計	1,469,461	1,427,753	1,516,337	1,441,726
	化石燃料 ガソリン・軽油 単位:l	藤岡工場	12,806	13,528	14,151	12,059
		石塚工場	16,421	13,983	15,233	15,154
		足利工場	3,799	3,459	3,356	2,827
		宮城工場	8,005	8,270	8,314	7,917
		本 社	3,871	5,426	4,516	5,544
		合 計	44,902	44,666	45,570	43,501
	二酸化炭素 単位:kg-CO2	藤岡工場	358,403	370,841	362,375	346,359
		石塚工場	347,078	305,595	355,472	303,648
		足利工場	56,320	53,391	55,458	51,127
宮城工場		180,059	179,591	189,768	152,888	
本 社		15,131	18,925	16,540	19,029	
合 計		956,991	928,343	979,613	873,051	
廃棄物排出量	単位:t	藤岡工場	112	134	128	99
		石塚工場	95	57	56	84
		足利工場	39	29	24	24
		宮城工場	127	99	33	28
		本 社	0.27	0.29	0.32	0.29
		合 計	373	319	242	235
総排水量	単位:m ³	藤岡工場	4,470	4,299	4,185	562
		石塚工場	410	400	410	561
		足利工場	305	216	191	183
		宮城工場	328	289	307	309
		本 社	83	81	83	98
		合 計	5,596	5,285	5,176	1,713
化学物質使用量	単位:kg	藤岡工場	0	0	0	0
		石塚工場	378	432	432	109
		足利工場	168	116	130	171
		宮城工場	110	100	90	91
		本 社	0	0	0	0
		合 計	656	648	652	371

9.環境活動の取組結果の評価、次年度の取組内容

1) 環境活動の取組結果の評価

① 二酸化炭素排出量の削減

石塚工場・資材部

電力消費量が-490KWh/千万円、軽油消費量が-5.10L/千万円となり、二酸化炭素排出量が-283kg-co2/千万円となった。ウッドショックが落ち着いてきたことによる単価値下げが原因となり、前年度と比べ基準との差が減少した。前年同様、原板の荷下ろしを工場フォークリフト担当者が実施継続。レイアウトの見直しや、材料・仕掛品の置き方を見直した事により、軽油の消費量も削減する事ができた。

藤岡工場

電力消費量については基準 3,004 KWh/千万円に対し、実績 2,601KWh/千万円で-403KWh/千万円、-13.4%で大きく目標を達成した。今年度は設備使用割合が少ない新規事業の売上があり、原単位での電力使用量の減少に寄与している。又、生産計画による設備稼働も差異は生じているものの稼働時間の適正化を図ったことも要因の一つである。その一方で電気代の値上がりで電力費は稼働時間に対して上がっていることも実情として挙げられる。

※ガソリン消費量については基準 5.61L/千万円に対し、実績 5.06L/千万円で-0.55L/千万円、-9.8%の数値で目標達成である。不用意な外出や乗り合い乗車、まとめたの用事足しなどの行動を実施し、顧客への訪問や他工場への外出についても複数人で1台と決めて取り組んだ結果だと言えるが、現場差し替え作業による乗車は減少には至らなかった。

※軽油消費量については基準 63.51L/千万円に対し、実績 51.85L/千万円で-11.66L/千万円、-18.4%で目標達成の数字である。専属のフォークリフト作業者を2名から1名にしたことにより1台分の軽油使用量が削減出来たことが大きな要因である。物を動かす作業より物を作る作業への意識変化を僅かではあるが行ってきた結果である。

足利工場

・基準999kg-co2/千万円に対し、999g-co2/千万円と基準値は達成できたが目標の-0.5%には届かなかった環境への負荷の自己チェックの取りまとめ表の割合を見ても昨年の電力のCO2排出量約84.37%に対し、今年度は85.7%と1.3%アップしたが、その他ガソリンは2.15%→2.31%、軽油が13.42%→12.2%、LPGは0.05%→0.08%と電力とLPG以外はダウンとなった。

宮城工場

基準 3,898kg-co2/千万円に対し 実績3,719kg-co2/千万円と-179kg-co2/千万円、-4.6%と達成だった。ウッドショックの影響が残っており、売り上げに対しての電気使用量の差が開いたため目標達成できた。

本社

ほぼすべての目標が未達となり、排出量も+16.2%と大幅な増となってしまった。外部要因もあるが、設備見直し(建物共用部のLED化)や共用利用者に対する問題提起により、次年度は達成できるように進める。

② 廃棄物排出量の削減

石塚工場・資材部

一般廃棄物排出量が-0.893kg/千万円、産業廃棄物(木材)が-10kg/千万円となった。
裏紙の使用、両面印刷、FAXデータ送信に加え、印刷前に内容確認を行い誤出力を防ぐ事により削減に繋げる事が出来た。
材料に関しては、工場内での端材の有効活用に取り組んだ結果が出ている。

藤岡工場

産業廃棄物の木材(合板)については基準 491kg/千万円に対し、実績 428kg/千万円で-63kg/千万円、-12.8%と目標を上回る結果となり目標達成である。資材高騰により今まで廃棄していた合板端材の見直しを行い、時間は掛かってしまうが再加工→製品化を実施し廃棄量を削減出来たことが要因として挙げられる。今後は歩留向上による減量・削減の為、顧客への提案が課題である。
廃プラについては基準 170.9kg/千万円に対し、40.68kg/千万円と-130.22kg/千万円、-76.2%と目標を大きく上回る結果となった。主な要因は昨年までに滞留している廃プラ処理が終わり、今年度については年2回の廃棄で済んだことが要因として挙げられる。産

足利工場

・一般廃棄物は基準 2.759kg/千万円に対し実績 3.330kg/千万円と+0.449kg/千万円+20.7%と未達成だった。昨年同様に裏紙の使用、電子文書化も取り組んだが原単位の関係で達成は難しかった。
・木材は基準173kg/千万円に対し実績230kg/千万円と+57kg/千万円、-32.9%で未達成となった。要因としては材料に使用されている木製パレットを纏めて処分した事で処分量が増えて未達成となったと考えられる。
・断熱材は基準242.07kg/千万円に対し、実績237.29kg/千万円と-5kg/千万円、と-2%で達成となった。要因としては断熱加工担当者が原反から製品を取る際に取り合わせを工夫した事と、出荷する製品も若干変わった事で歩留まりが上がったと思う。

宮城工場

廃棄物(木材)については、基準203kg/千万円に対し24.93kg/千万円、-178.07kg/千万円、-87%減と大幅に減少した。
有価で引取ってもらえる業者がみつき、大幅削減につながった。
廃プラに関しては、基準236kg/千万円に対し336kg/千万円、+100kg/千万円、+42%増となった。新規でGWの邸別PKが始まり、梱包用ビニールなどの廃プラが大幅に増えたのが原因だと考えられる。

本社

基準に対して+9.7%と未達となった。原因は、排出量の数値はコピー用紙の購入量を根拠として算出しているが、昨今の物価高により4月に用紙の値上げされることとなり、値上げ前に多くの用紙を購入した為、結果として未達となっている。
次年度以降は結果を踏まえて購入量の調整も進めていきたい。

③ 水使用量の削減

石塚工場・資材部

原因としては、2023年2月より下水に切り替わった為、水の使用量が増えてしまった。
次年度より、今年度の実績を踏まえた新たな目標を設定する。

藤岡工場

基準 22.02m³/千万円に対し、2.652m³/千万円と-19.368m³/千万円、-87.96%と目標を大きく上回る結果となった。主な要因は一昨年に行った古い水道管からの漏水修繕工事から1年が経ち適正な水使用量に戻った為である。井戸水の利用についても事業用もしくは掃除用の水としての利用を継続している。

足利工場

・基準 3.293m³/千万円に対し、3.548m³/千万円と+0.255m³/千万円、+7.7%になった。使用量としては昨年191m³に対し、183m³と下がったものの未達成となった理由としては原単位の影響が大きいと思う。

宮城工場

基準年 0.75m³/人に対し、0.799m³/人と+0.049m³/人 +6.5%と未達成に終わった。前期に比べ、工場の稼働日数が多く、トイレなどの使用頻度が高く目標達成できなかった。

本社

基準に対して+18.8%と未達となった。昨年に引き続き建物共用部利用者が大幅に増えたことで、結果として使用量が増加していると思われる。共用部に削減に関する掲示物を増やし、注意喚起による提起を進めることで、消費量削減につなげていきたい。

④ 化学物質使用量の制御

石塚工場・資材部

引き続き防腐液の客先指定濃度の維持を徹底していく

藤岡工場

購入品に対する化学物質の把握から必要なSDSを入手し管理台帳を付けることによって維持管理を行った。又、安全衛生委員会等で保管方法や取り扱いについての確認を行い、適切な方法で保管・使用することが出来た。

足利工場

・基準2.861kg/千万円に対し2.064kg/千万円と-30%となったが1回/月の防腐液濃度検査も特に問題なかったため使用量も適正と考える。

宮城工場

毎月1回 防腐済みの試験片を検査機関へ郵送し薬剤の使用量が適正か否かを検査し、管理しています。引き続き、使用量を適正な管理を行い、過剰な使用は、絶対行わない事を徹底する。

⑤ 事業項目

石塚工場・資材部

輸入木材の不良率については、-0.3%と削減することができた。
現地サプライヤーへの改善要求を行った結果が出てきている。

藤岡工場

不良率の基準値 6.7%に対し実績としては10.5%で+3.8%の増加となり、低減率が+56.7%程に跳ね上がった。ウッドショック以前は不良率が4~6%台だったものが、ウッドショック以降は不良率は10%前後が続いている。背景には粗悪品が現地工場より輸出してきたものと思われ、メーカーサイド側には報告して改善を要求しているが、変わる様相が無いので別のサプライヤーからの比率を変えて購入を行ってきた。

足利工場

・基準0.0344%/千万円に対し0.0310%/千万円で達成となった。今期は試作をなどはほとんどなく通常業務で発生した不良品は手直し可能なものについてはある程度できたので不良率も減った。

宮城工場

内壁枠生産不具合率が、基準の0.03%から0.027% となりました。作業者が、チョコ停を異常と認識し、原因追及と対策に取り組んだり、工程の前後で不具合情報の交換が密になり原因を潰した結果、目標達成できた。

⑥ その他

石塚工場・資材部

5S活動のみならず、工場内のパトロールを強化していく。

藤岡工場

5S活動は以前の活動の様に活発さが無くなり全体を通してマンネリ化した状態である。一人一人の意識変化が必要とされており、今後の課題でもある。又、エコ活動を通して改善効果が見られるような活動を行っていきたい。省エネルギーに寄与する建屋や設備に目を向け5年後や10年後の将来に目を見据えていく。

足利工場

倉庫内にある酢ビ系ボンドで使われている袋の乾燥を進めることが出来た。また、工場敷地外の草刈りや清掃も定期的に行った。

宮城工場



1Sを徹底して行い、不要な物に関しては処分し空いた場所の有効活用に努める。

本社

今年度は、昨年度に引き続き、人員増、共用利用者の増加等、外的要因が大きな年度だった。次年度は、10月開始のインボイス制度の施行、1月の電子帳簿保存法の義務化等、業務の大きな変化がある年なので、変化に適切に対応・利用することで、環境活動に更なる改善を行うことができるよう努めていきたい。

本社 2023年度 環境経営目標・活動計画及び実績表

作成日: 2023年6月23日

承認	担当
	

中期目標(2024年度)	2023年度目標 (2023.6.1~2024.5.31)	施策(対策)	取組内容	取組項目にチェック☑												担当者	責任者	
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5			
電力消費量		節電意識の高揚	お昼休み消灯														全員	牧野
12,284 KWh	12,411 KWh		照明の間引き点灯														全員	
3%削減	2%削減		扇風機やサーキュレーターの有効活用														全員	
(2021年度基準)	(2021年度基準)		ブラインド等で日差しを調節														全員	
12,664 KWh	12,664 KWh		NO残業デー実施によるパソコンやプリンターの使用時間削減														全員	
ガソリン消費量		エコドライブの推進 (詳細はエコドライブ手順書による)	照明器具・エアコンの定期清掃													全員	牧野	
4,380.54L	4,425.70L		アイドリング・ストップの励行													全員		
3%削減	2%削減		法定速度を順守する													全員		
(2021年度基準)	(2021年度基準)		急発進・急停止を避ける													全員		
4,516.02 L	4,516.02 L		早めのアクセルオフ													全員		
灯油消費量		節約意識の高揚	外出業務の集約・効率化を図る 予定に余裕を持った行動													全員	牧野	
121.25	122.50L		ファンヒーターの使用時間の限定 エアコンとの併用による効率化												全員			
3%削減	2%削減																	
(2021年度基準)	(2021年度基準)																	
125.00L	125.00L																	
液化石油ガス(LPG)消費量		節約意識の高揚	必要な給湯量を意識し燃焼時間を短縮(ガスコンロ)													荒川・岡村	岡村	
6.42kg	6.49kg		洗い物の回数削減(ガス給湯器の使用時間の短縮)												荒川・岡村			
3%削減	2%削減		ガス給湯器の冬季のみの使用												荒川・岡村			
(2021年度基準)	(2021年度基準)																	
6.62kg	6.62kg																	
一般廃棄物排出量削減		コピー用紙の削減 (詳細はコピー用紙削減手順書による)	裏紙使用率の向上													全員	岡村	
260kg	262.6kg		コピー機使用後のリセット習慣												全員			
3%削減	2%削減		印刷前に確認												全員			
(2021年度基準)	(2021年度基準)	封筒の節約	社内で使用する封筒は使用済み封筒を再利用												全員			
268kg	268kg																	
水使用量削減		節約意識の高揚														全員	岡村	
80㎡	81㎡		洗い物回数の削減、効率化												全員			
3%削減	2%削減		水漏れの定期点検												全員			
(2021年度基準)	(2018年度基準)		節水ポスターの掲示の強化															
82.6㎡	82.6㎡																	
5Sの推進		事務所、倉庫の整理・整頓	不要物の処分													全員	牧野	
			「5S活動」のポスター掲示												牧野			
			収納の工夫												全員			
評価(実施項目数)				実施項目														
A: 22以上 B: 17以上 C: 12以上 D: 11以下				評価														
				確認														
				日付														

10.環境関連法規等の遵守の状況確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

全工場および本社は、2023年6月中に環境関連法規等の遵守状況を確認した結果違反は有りません。
尚、関係当局からの違反の指摘も過去5年間無く、訴訟等も過去に1件も有りません。

11.代表者による全体の評価と見直し指示

全体についての評価、今後への指示事項

製造部門(4工場)では、引き続き二酸化炭素の排出を目標より大きく削減出来ている。
昨年12月に石塚・藤岡の両工場照明をLED化したことでも大きな削減へつながっている。
昨今の電気代の高騰も継続しており、引き続きコマメな節電(全従業員参加)も合わせ実施していく。

1、SBT認証取得への取組み(顧客からサプライチェーンへの要望)

- ・2023年4月に申請取得済み ・認証内容 2018年を基準年度とし、年間-4.2%/年を目標として2030年度に-50%を達成を目指す。
- ・今後は会社内への浸透を進める。

2、廃プラの有効的な再利用を検討する。

- ・現状産廃処理。引き続き有効な再利用を検討する。(継続課題)

3、弊社事業に係る関連会社の環境へ影響を及ぼす活動についても取組む。

環境経営方針	・環境方針は変更せずに継続します。
環境経営目標及び環境経営計画	・2023年度より二酸化炭素の排出量は-4.2%へ変更する。
実施体制	・実施体制は変わらず継続する。